

第3号様式(第4関係)

令和8年度子どもを産み育てやすい環境づくり強化事業実施計画書

市 町 村 名	野辺地町				
区 分	地域少子化対策重点推進事業				
個 別 事 業 名	あおもり出会いサポートセンター運営事業				
実 施 期 間	令和8年4月1日 ~ 令和9年3月31日				
所 要 見 込 額	補助対象経費	47,000 円	(補助金所要額)	31 千円	
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当町において少子高齢化は極めて顕著な状況にある。共働きや核家族化など社会構造が大きく変化する中、将来を担う次世代の育成と、安心して子育てができる環境整備を推進する。あわせて、結婚や出産が前向きに捉えられるよう、その意義についての啓発活動に取り組む。 また、経済的な不安から結婚を躊躇する層に対し、結婚新生活支援事業を通じてその一歩を後押しする。</p> <p><本個別事業の位置付け> 出会いの場の創出に大きな役割を果たす「あおもり出会いサポートセンター」の運営を青森県と共同で行うもの。</p>				
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) 1. 概要(具体的内容) あおもり出会いサポートセンターの共同運営 青森県と連携し「あおもり出会いサポートセンター」を共同運営する。町は、負担金の拠出に加え、会員募集等の広報活動を積極的に実施する。また、センターの運営に必要な取組を適宜実施し、総合的な結婚支援体制の構築を図る。</p> <p>2. 事業内容を検討する上で参考とした既存事業 なし</p> <p>3. 次年度に向けた事業の方向性 青森県との共同運営であることから、県の方針に従うものとする。</p>				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値	現状値
	出生数		件	34 (R12年度)	34 (R6年度)
参考指標	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率(H30年~R4年)			1.23	
	婚姻数(R6年)		件	25	
	婚姻率(R6年)		%	2.2	

	KPI項目	単位	目標値	現状値
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	<アウトプット>			
	マッチングシステム新規利用登録数	人	3,000 (R11年度)	1,575 (R7年度)
	<アウトカム>			
	マッチングシステムにより引き合わせが成立した人数	人	3,000 (R11年度)	2,026 (R7年度)
あおり出会いサポートセンター認知率	%	30.0 (R11年度)	17.8 (R6年度)	
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無			

(注)

1 「所要見込額」には、本補助金の対象経費支出予定額を記入すること。併せて、「補助金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額(千円未満切り捨て)を記入すること。

2 「市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、これまでの市町村における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での個別事業の位置付けを記載すること。

3 「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4 「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、本交付金のEBPMのアウトカム指標も踏まえ、市町村の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は少なくとも令和8年度終了時点で、各市町村において効果検証を実施し、県にその結果を報告すること。

5 「参考指標」には、各市町村の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、必要に応じて、その推移を記載すること。

6 「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本交付金のEBPMのアウトカム指標及び市町村における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。(過去に設定したKPIも記載すること。)